

8月10日(日)発行

当日の感動を  
すぐお届け!!

特別協賛: TOSHIBA

ほぼ

# 日刊サマーミュージック

Hobo Nikkan Summer Muza



## 【特別寄稿】井上道義さんからのメッセージ



©Orchestra Ensemble Kanazawa

こんにちは。道義です。

突然ですが、僕は16才で原付1種の免許を交付してもらい、極めて実用的な・・・でも橙色の中古バイクを父に拝み倒し買ってもらいました。自宅のあった世田谷から真鶴岬まで地図を頼りに走ったとき、途中で通った神奈川県川崎近辺は田んぼや工場だらけ。でも、そこで生きている人はみんな明日を見て、上を向いていて、手元の道案内ナビなどは見ていませんでした。

その明日が今現実となり、素晴らしいホール「ミュージック川崎」に人々が集まっている。僕も同じ頃自分の人生を賭けて、指揮者になった。そして、今回このサマーミュージック

の「トリ」を務めるはずで楽しみにしていたのです。幕開けの指揮者は、僕の後にスカラ座のコンクールで優勝したスターンだったし、2回前に優勝したインバルも振ったし…。でも、今回は現田さんに託します。

僕は幸いなことに、どんどん治っている。声も出始めだし、食べ物も口から食べ始めました。10キロ痩せたからまだ元気な姿ではないけれど、僕がこの恐ろしい病の経験をしたことは、きっと、これから、お互いが今日でファイナルにならないための仕組まれた出来事だったのでと思いたい。リハビリをしっかり行って、10月に復帰が出来るように努力したいと考えています。

2014年8月10日

井上道義

井上道義氏は、当初、本日のフィナーレコンサートの指揮を予定しておりましたが、病気療養のため、活動を一時休止しております。今回、特別にメッセージをいただきました。(編集部)



## 三大交響曲、真剣勝負@しんゆり

熱演する、円光寺雅彦

8月9日(土) 東京交響楽団 撮影：青柳聡

出張!サマーミュージック、一週間前の神奈川フィルによる三大協奏曲に続き、東京交響楽団による「三大交響曲」。近づく台風11号の影響か、真夏の太陽も一休み、にわか雨も降って幾分過ごしやすい午後の新百合ヶ丘。会場のテアトロ・ジーリオ・ショウワは、ほぼ満席。指揮は、すでにベテランの風格を備えた円光寺雅彦。

シューベルト「未完成」で開幕。小さめの12型編成だが、密度が濃く重々しい音色で、ゆっくり丁寧に音を紡いでいく。あれ?舞台奥中央にセットされたティンパニに奏者がいないのに、太鼓の音が聞こえてきた・・・舞台の下手寄りに別途バロック・ティンパニがセットされ、温かみのある音色を奏でている。続くベートーヴェンの「運命」は、冒頭から濃厚な円光寺も唸る、入魂の(ン)ダダダダーン! たっ

ぷり充実した中低弦、息の合った木管群。そしてトランペットは、通常のバルブのある楽器ではなく、2本ともナチュラル・トランペット。ティンパニ同様、オーケストラの強いコダワリと真剣味が伝わってきた。

後半のドヴォルザーク「新世界より」、注目の第2楽章ではイングリッシュ・ホルンが大活躍。マエストロの安定したタクトに、テンポの変わり目もオーケストラは安心してついて行く。コンサートマスターの水谷晃が、全身を使って巧みにリードし、力強いクライマックスを迎え、会場は拍手大喝采となった。

帰路につくお客様の顔は、一樣に満足そう。開演前の雨も止み、駅へ向かう大行列が道幅一杯に続いていく、和やかな夕方であった。

事業課 山本 浩

8/9 東京交響楽団

## お客様の声から♪



マエストロ・円光寺雅彦

マエストロからサインをいただきました!ありがとうございました。

フェスタサマーミュージックは他の都市にもあまり見かけない良い企画です。特に、短期間に数々のオーケストラが演奏してくれること、料金も抑えられていることは大変魅力的です。ずっと続けてください。(71歳・無職・ヒデカワサキ) / 3つのポピュラーな交響曲をそれぞれの雰囲気や大事にした演奏を聴ける機会は滅多にない今日はここ数年にない幸せなひとときを過ごすことができました。ドボのラストで涙が浮かんできました。(75歳・横浜のトム) / 「運命」の長い古そうなトランペットが気になります。あれはいったい何?(50歳・会社員・足柄くん)

女子レポ!

女子クラ部 & 12 Violinists

【東京交響楽団@しんゆり】  
「未完成交響曲」から始まり、エネルギッシュな「運命」、私も大好きな「新世界より」ではドボルザークの世界へと引き込まれました。  
by 小泉奈美(12人のヴァイオリニスト)

今日の公演は交響曲の豪華三本立て!新世界よりでは「家路」のメロディーが懐かしく、身も心も酔いました!  
by YUMI(女子クラ部レポーター)

【昭和音楽大学】  
大学生ならではのフレッシュな演奏と、ジャズピアノの細川さんのラブソディインブルーは素晴らしいかったです!!  
by 白澤美佳(12人のヴァイオリニスト)

サマーミュージックおなじみの昭和音大の皆さんと真っ赤な衣装の指揮齋藤さんは若くエネルギッシュな空間をあっという間に作り、最後まで魅了されっぱなしでした!  
by みき(女子クラ部レポーター)

【昭和音楽大学】  
大学生ならではのフレッシュな演奏と、ジャズピアノの細川さんのラブソディインブルーは素晴らしいかったです!!  
by 白澤美佳(12人のヴァイオリニスト)

サマーミュージックおなじみの昭和音大の皆さんと真っ赤な衣装の指揮齋藤さんは若くエネルギッシュな空間をあっという間に作り、最後まで魅了されっぱなしでした!  
by みき(女子クラ部レポーター)

# 若さ弾ける演奏で、会場を圧倒!



8月9日(土) 昭和音楽大学 撮影:青柳聡



マエストロ・齊藤一郎と  
ソリストの細川千尋さん

お二人にメッセージをいただきました。

Best hall in Japan(齊藤一郎)  
Thanks!ありがとう!(細川千尋)

8/9 昭和音楽大学

## お客様の声から♪

とにかくピアノの細川さんが  
すごかったと思います。最後の  
幻想は特に圧巻でした。(63  
歳・会社員・平岡秀美) / 本日  
のピアニストのアンコール曲  
に泣きました…。昭和音大の  
オケ、若々しくともうまいで  
す!いつも感動しています!  
(40歳・会社員) / ラプソディー  
インブルーのCIのソロが良  
かった。ピアノもすごく良く響  
いていてキレイだった。(14  
歳・中学生・いっちー) / 初め  
てオーケストラをみにきてコ  
ントラバスなど低音が、めだ  
ってダイナミックでよかった!!  
(16歳・学生・まゆ) / 大変素晴  
らしい演奏でした。夫はラプ  
ソディーインブルーが良かった  
と、私は幻想の方の舞踏会の  
音楽が大変懐かしかったで  
す。(55歳・会社員・比路木)

セントラル愛知交響楽団  
常任指揮者・齊藤一郎  
が燃えるような赤い衣装で現  
れると、会場はドッと沸いた。9  
日に登場したサマーミュージック  
常連の昭和音楽大学オーケス  
トラは、「夢と情熱、ある芸術家  
の物語」と題し、若さ弾けるフ  
レッシュな演奏を披露した。

前半は、20世紀アメリカを  
代表する音楽家2人の楽曲。ア  
メリカ民謡を取り入れた作風  
のコーブランド「エル・サロ  
ン・メヒコ」と「のだめカン  
ダービレ」でも有名な「シン  
フォニックジャズ」のガー  
シュイン「ラプソディー・  
イン・ブルー」だ。これらの  
曲が誕生した時代は、アメリ  
カ

資本主義が右肩上がりに急  
成長を遂げた時期と重なる。複  
雑ながらノリノリで勢いのある  
この2曲は、音大生である彼ら  
のサウンドにピッタリ。オーケ  
ストラは躍動するような音色で  
会場を包み込んだ。

「ラプソディー・イン・ブルー」  
では、2013年「モントルー・  
ジャズ・フェスティバル・ソロ・  
ピアノ・コンペティション」日  
本人女性初のファイナリストと  
なったピアニスト・細川千尋  
とも共演。現在も昭和音楽大  
学付属ピアノアートアカデミ  
ーに在籍する彼女は、強さとし  
なやかなさが交錯するような  
プレイで観客を魅了した。

後半は、約55分に及ぶ「THE  
オーケストラ」とも言えるベル  
リオーズの「幻想交響曲」だ。  
タイトル通り、交響曲全体が  
“幻想的”なこの楽曲。前半  
とうってかわり黒のタキシード  
でタクトを振った齊藤は、「舞  
踏会」、「野辺の風景」、「  
断頭台の行進」など物語を呼  
び起こすような音楽を演出  
した。

「ブラボー」。観客の大喝  
采と共に、昭和音楽大学の  
コンサートは幕を閉じた。

ライター 梶原誠司

**Goods**  
muza original  
**2014**  
new model  
夏新作!

**今年のおススメはコレ!**

ミュージックオリジナル  
グッズ販売中!

●サマーミュージック  
チケットホルダー  
640円(税込)

●トートバッグ  
540円(税込)

ミュージック川崎シンフォニーホール内ショップ  
「プレリュード」にて発売中。

**チケットホルダー&トートバッグ**  
セットで1,000円!(税込)

セット販売は本日10日まで!  
ミュージック内特設カウンターにて。  
今後は単品での発売のみとなります。  
ぜひサマーミュージック期間中にお求めを

**今だけお得!**

友の会キャンペーン実施中

キャンペーン中の特設ブースでは、たくさんの方と交流させて頂きました。入会して下さったお客様、声をかけて下さった会員様、ありがとうございます!(友の会担当)

当日の感動をすぐお届け!!  
毎日  
**日刊サマーミュージック**  
Hobo Nikkan Summer Muza  
「ほぼ日刊サマーミュージック」のバックナンバーは、ミュージックWebサイトからご覧いただけます。  
http://www.kawasaki-sym-hall.jp/

今回、サマーミュージックでは初の試みとなった、「ほぼ日刊サマーミュージック」。「ほぼ日刊」は、公演のない日には発行をお休みするからで、決して発行できなかった時の逃げ...ではございませぬ!

とは言っても、最初は本当に毎日ちゃんと無事に発行が出来るのか、という不安もあったのも事実。危うく発行ができなくなるようなこともあった(りー)、印刷機がなかなか動いてくれず、公開リハールの開場時刻に間に合わなかったこともありました。

事務室での「こんなやりたいたいよね」というたわいもない会話から突如始まった本プロジェクト(うー)でしたが、素晴らしい公演レビューを提供して下さいた音楽ライターの皆様、食レポやスタッフ日記の執筆に積極的に手をあげて下さったミュージックスタッフの皆様、そして何よりも毎日「ほぼ日」の発行を楽しみにしてくださっているお客様の声が非常に励みになりました。本当に本当にありがとうございました。

そして、「ほぼ日」は本日が最終号...ではありませぬ!本日のファイナルコンサートに出演のレビューが載った総集編を発行予定。最後の最後まで、どうぞよろしくお願いたします!

広報営業課 ず

スタッフ日記